

団体名 LOOP <sup>®</sup>	代表者 藤原康典	記載者 風早孝将
所在地(市区町村名のみ)	〒703-8245 岡山市中区藤原73-201	
活動目的	演劇の持つ創造性、コミュニケーションツールとしての効能に触れ、演劇を楽しんでもらうことで、地域の演劇人口を増やし、地域を活性化させる。	
団体の紹介	平成27年、岡山県内の演劇人有志により、劇団の枠を超え結成。 (1) 演劇・ダンス等の表現芸術に関する公演 (2) 未経験者等を対象としたワークショップ (3) 戯曲、演出、技術、制作等の勉強会 (4) その他地域の演劇人口を増やす様々な取り組み を活動内容に、演劇人口(表現者人口、鑑賞者人口)を増やし、多様な価値が溢れる環境を醸成し、地域の創造性・弾力性を高め、地域活性化を図ることを最終理念としている。	
助成を受けての活動内容	<p>演劇に参加・体験・創造することを通じて、岡山の演劇人口を増やす取り組みとして、①演劇に触れ、創造することの楽しさを感じてもらえる事業(ワークショップ、ウブ公演)、②県内演劇人が結集しレベルアップを図れる事業(ガチ公演)、③プロ劇団による質や実験性の高い事業(プロ公演)を三本柱に事業を展開することとした。</p> <p>◇夏の創作ワークショップ 8月19日(金)～21日(日) 参加者11名。劇団ajiの島貴之とコーポリアルマイムユニットtarinainanikaを招聘し、「かもめ」を題材にワークショップ、するおがにてショーイングを行った。</p> <p>◇プロ公演「オイディプス」9月1日(木)～4日(日) するおが 観客180名。第七劇場により、きわめて実験性の高いギリシア悲劇の上演を行った。</p> <p>◇ウブ公演「あゆみ」9月10日(土)・11日(日) 旧内山下小学校体育館 観客400名。公募の市民17名が、円形劇場となった内山下小学校体育館で一人の女性の一生を群像劇として表現した。</p> <p>◇秋の創作ワークショップ 9月30日(金)～10月2日(日) 参加者17名。劇団山の手事情社の大久保美智子と振付家三浦宏之を招聘し、「ロミオとジュリエット」を題材にワークショップ、するおがにてショーイングを行った。</p> <p>◇ガチ公演「とまれない12人」10月29日(土)・30日(日) 旧内山下小学校体育館／11月5日(土)・6日(土) 旧遷喬尋常小学校講堂 観客380名。内山下小学校と、真庭市の遷喬尋常小学校講堂にて、電車の客席を再現し、ノンストップコメディを上演した。</p>	
助成を受けての成果	<p>助成金をいただくことで、プロの劇団を招聘するとともに、本来劇場でない体育館を使っての円形や対面での舞台づくりを行うことが出来た。また、初めて演劇に参加される方、観劇する方も多く、当初目的の地域への演劇普及が一定程度達成できたと考える。</p> <p>なお初めて参加した人の中には、事業後も、ほかの公演に出演するなど次のアクションにつながっている。</p>	
今後の活動の課題点	<p>今回のプロジェクトは、8月から11月にかけて集中的に実施し、発信力・訴求力を高め、より多くの人に劇場に足を運んでいただくことを狙っていた。一定の効果はあったが、スタッフ全員が個々の生業(仕事)をこなしながら事業を行っていたため、ときに事務能力を大きく超え、運営面で追いつかないこともあった。具体的には、広報宣伝の面で若干後手に回った面は否めない。また、複数の公演・ワークショップを並行して制作したため、稽古場や会場の確保に苦労した。</p>	
<p>問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 住所(〒703-8245)岡山市中区藤原73-201 藤原康典行 TEL=090-7373-3005 FAX=0869-84-2976 E-mail =shibaikayama@gmail.com 担当 藤原 参加を希望される方はご連絡ください。</p>		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。  
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)  
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

